# メールリストダイアログバー

Mbox Viewer は 3 つの内部メール リストを管理します。

* **すべてのメール**リストは、メール ツリー下の選択されたアーカイブ ファイルから作成されます。
* **見つかったメールの**リストには検索結果が表示されます。ユーザーは「検索の詳細」ダイアログを実行するか、「検索」ダイアログで「すべて検索」オプションを設定できます。
* **「ユーザーが選択したメール」リストは、 「すべてのメール」リスト**または**「見つかったメール」リスト**のメールからユーザーによって作成されます。 **「すべてのメール」リスト**または「見つかった**メール」リストのメールが「ユーザーが選択したメール」リスト**にも含まれている場合、最初の列に赤い縦線が表示されます。

各内部メールリストには、ツールバーの横にあるダイアログバーに関連ボタンがあります。特定のメールリストが選択され、メールサマリーウィンドウに表示されると、関連ボタンがハイライト表示されます。

**「ユーザー選択メール」リスト**へのアクセスが有効になり、ユーザーはリストの簡単な監査を実行できます。ユーザーは「表示」→「ユーザー選択メール」を選択して有効化/無効化することで、このリストを無効化し、関連するボタンをグレー表示にすることができます。

**ユーザーが選択したメールリストが有効になっている**場合、選択したメールをユーザーが選択したメールにコピーするなどの追加のメール メニュー オプションが有効になります。

**ユーザーが選択したメールリスト**の内容はユーザーが制御できます。ユーザーは検索を複数回実行し、結果を**ユーザーが選択したメール**リストにマージできます。マージ前に検索結果をプルーニングすることも可能です。

**、[すべてのメール]リストから 1 つ以上のメールを選択し、 [ユーザーが選択したメール]リスト**にコピーするオプションもあります。

マージ/コピー プロセスでは、**ユーザーが選択したメール**リストに重複したメールは作成されません。

ユーザーは1つ以上のメールを選択し、 **「見つかったメール」**または**「ユーザーが選択したメール」リストから削除できます。 「すべてのメール」リスト**からメールを削除することはできません。

新しいメール アーカイブが選択されるまで、**すべてのメールリストの内容は保持されます。**

**見つかったメール**リストの内容は、新しい検索が実行されるか、新しいメール アーカイブが選択されるまで保持されます。

**ユーザーが選択したメール**リストの内容は、ユーザーがクリアするか、新しいメール アーカイブが選択されるまで保持されます。

**[すべてのメール]**および**[見つかったメール]リスト内**のメールには、最初の列に縦線が表示され、同じメールが [**ユーザーが選択したメール]リスト内に存在することが示されることに注意してください**。

# 「見つかったメール」と「ユーザーが選択したメール」リスト内のメールをアーカイブする

**見つかったメール**リストと**ユーザーが選択したメール**リストの内容を mbox アーカイブ ファイルに保存できます。

**見つかったメールリスト**から作成されるアーカイブファイル名は、メインのアーカイブファイル名のベース名に\_FINDサフィックスが付加されます。**ユーザーが選択したメール**リストから作成されるアーカイブファイル名には、\_USERサフィックスが付加されます。

たとえば、Gmail のルート mbox アーカイブ ファイルの名前が「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018.mbox」の場合、作成されるアーカイブ ファイルの名前は「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018\_USER.mbox」または「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018\_FIND.mbox」になります。

**見つかったメール**または**ユーザーが選択したメールのリスト**にあるメールからアーカイブ メール ファイルを作成するには:

1. 選択したリストをアクティブにするには、[**見つかったメール]**または**[ユーザーが選択したメール]**ボタンをクリックします。
2. 任意のメール上で右クリックし、「Mbox メール アーカイブ ファイルとして保存」オプションを選択して、選択したリスト内のメールを保存します。
3. ファイルの保存が完了すると、作成されたアーカイブ メール ファイルを開くか、アーカイブ ファイルがあるフォルダーを開くためのダイアログが表示されます。
4. 「ファイルを開く」を選択して、作成したアーカイブ ファイルを mbox ビューアーで開きます。
5. 「ファイルの場所を開く」を選択して、作成されたアーカイブファイルのあるフォルダを開きます。このファイルを、mboxファイルのある既存のフォルダのいずれか、または新しいフォルダに手動で移動/コピーする必要があります。

# 「ユーザーが選択したメール」リストのメールからメールリストのインデックスファイルを作成する

**、ユーザー選択メールリスト**内のメールを .mboxlist インデックス ファイルに保存できます(例: 「スパムとゴミ箱を含むすべてのメール.11.09.2018\_USER.mbox.mboxlist」)。

.mboxlist ファイルには**「すべてのメール」**リスト内のメールのインデックスが含まれているため、メールアーカイブファイルよりもはるかに小さくなります。.mboxlist ファイルはいつでも**「ユーザーが選択したメール」**リストに再読み込みでき、必要に応じてアーカイブファイルを作成できます。

**ユーザーが選択したメールリスト**内のメールからメール インデックス ファイルを作成するには:

1. をアクティブにするには、 **「ユーザーが選択したメール」**ボタンをクリックします。
2. **ユーザーが選択したメールリスト**内のすべてのメールからインデックス リスト ファイルが作成されます。
3. メールインデックスファイルは\*\_USER.mbox.mboxlistとして作成されます。